

## 5. 2017年度事業活動報告

重点課題5項目を踏まえ、活動した(進捗状況は下表)。

1. 会員の自己啓発による実力アップを支援する:会員による経験紹介や研究会活動活発化
2. ホームページを中心とする情報提供を豊富にし、会の充実を図る
3. 会員の増強
4. 財政の充実
5. 関連機関との協力強化

事業	2017年度事業活動計画	2017年度事業活動／経過報告
総務 (事務局)	<p><b>「IPPの円滑な運営と会員増強、 関連団体との交流の推進」</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会員メールアドレス情報の確認と活用。</li> <li>2. 包装管理士講座合格者上司へのIPP活動PRを継続し、新合格者の入会促進を図る。</li> <li>3. 各支部長、事務局長に定期的に支部の会費納入状況を報告し、行事の機会などを利用した未納者への働きかけによる改善を図る。</li> <li>4. 「女性会員の会」、「直近の包装管理士合格者同窓会」等の支部施策推進を支援する。</li> <li>5. 事務局業務マニュアルのさらなる充実の推進。</li> <li>6. あらゆる機会を利用し、JPIとの交流を深める。</li> <li>7. JPI包装関連4団体との交流を推進する。</li> <li>8. 海外展示会視察等の支部活動を支援する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 返送郵便物や配信不能E-mailのアドレスの確認など、可能な部分から着手した。</li> <li>2. JPIの好意により、修了者上司(受講推薦者)にIPP案内と入会の勧めを送ることができた。効果はまだ確認されていないが、新規修了者の入会状況で判断していきたい。</li> <li>3. 再請求後未納者リストを各支部に送付した。</li> <li>4. 支部活動のホームページへの掲載や、包装技術誌への掲載などを積極的に支援した。</li> <li>5. マニュアルの着実な実行による確認を行った。</li> <li>6. JPI主催行事への協力による交流を推進した。</li> <li>7. 東京パック2018の企画に積極的に参画する。</li> <li>8. 海外視察支援として展示会情報の提供を行った。</li> <li>9. 定款の見直しを開始した。</li> </ol>
財務	<p><b>「収入の確保」</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホームページ等を活用し会の事業の魅力を告知し入会者の増加を図る。</li> <li>2. 退職後も会員として活動継続に興味の持てる活動を模索する。</li> <li>3. 支出の方法に工夫を凝らし、収支均衡を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホームページへの行事案内および報告の掲載によりIPP活動の告知が行われ、会員減少歯止めの切っ掛けとなりつつある。</li> <li>2. 退職後の継続策は着手できなかった。</li> <li>3. 活動経費の圧縮に努めた、ほぼ予算通りの支出となった。</li> </ol>
広報	<p><b>「ホームページの活性化、 ippニュースの発行」</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全ての支部の情報が掲載されることにより、ホームページが活性化されること、及び会員にメールマガジンを発信することを、数年来の目標に掲げながら、目標を達成することができないでいる。実現のための一歩として、2017年度は広報担当から定期的に各支部長に連絡メールを発信する。同時に各支部の情報を集め、ホームページに反映する。</li> <li>2. 見学会・研究会等の案内を内容がみえる案内とすることは、継続して実施する。</li> <li>3. 「10大ニュース」の公募・選定を行なう。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホームページは西日本支部からの投稿が活発化している。本部、関東支部、関西支部は従来通り行われた結果、掲載数が増加している。メルマガの発行は着手できなかった。</li> <li>2. 行事案内が具体的に紹介され、会員に内容を理解していただくことができた。行事参加による支部間交流も期待できる。</li> <li>3. 各支部からの応募、選定協力を得て、2017年の「10大ニュース」を決定し、幅広く発信した。</li> </ol>